

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

電子号外

2019年(令和元年)
12月1日(日)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900-8525

那覇市泉崎1-10-3

©琉球新報社2019年

喜友名五輪代表

空手形男子

20年東京、県勢第1号

東京五輪で初めて実施される沖縄発祥の空手で、形で男子の喜友名諒(29)は劉衛流龍鳳会から3選手が1日、全日本空手道連盟が定める選考基準を満たし、この競技で最初に代表とすることが確定した。県出身選手の東京五輪出場確定は初めて。形女子の清水希容(25)はミキハウスと、組手男子75kg級の西村拳(23)はチャンプも東京五輪代表が確定した。



空手形男子の喜友名諒。9月、日本武道館

全日本空手道連盟は来年1月1日時点で、世界空手道連盟(WKF)五輪ランキングの各階級上位2選手を集中強化指定選手とすると規定。さらに同年1月のPLパリ大会後のランキングで2選手の間には2千ポイント以上の差がつけば代表に「内定」として開催されたPLマドリッド大会の成績が確定した時点でこの条件を満たした。

各国代表の東京五輪出場権は来年4月6日時点の五輪ランキングなどを基に決定される。日本連盟は同日をもって代表を「正式決定」する。県勢では、東京パラ大会で陸上車いすの上与那原寛和(48)の代表入り内定している。

きよな・りょう 1990年7月12日生まれ。沖縄市出身。劉衛流龍鳳会指導員。170cm、78kg。高原小、沖縄東中、興南高、沖縄国際大卒。5歳で空手を始め、中学3年から劉衛流の佐久本嗣男氏に師事。大学2年で日本代表入り。全日本選手権は2012年から7連覇、世界選手権は18年まで3連覇中。18年2月から国際大会で負けなし。7月のアジア選手権で4連覇した。今季プレミアリーグは6戦全勝。